九重山

概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続きました(図1、図2)

噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量で、噴煙高度の最高は8月14日の800mでした(図3)

地震活動の状況

火山性地震は55回(7月32回)でした。1日の回数は0~6回(7月0~3回)と少ない 状態で経過しました(図4)、有感地震、火山性微動はありませんでした。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、長者原 - 牧ノ戸峠、長者原 - 坊ガツル、牧ノ戸峠 - 坊ガツル の各観測点間 (図7)の基線長に変化は見られませんでした (図6)。

現地観測の状況

火孔や噴気地帯の状況に変化は見られませんでした。また、8月22日に実施した熱分布観測では、C領域(図7)の地表面温度は高い所で209.4 でした(図8)。

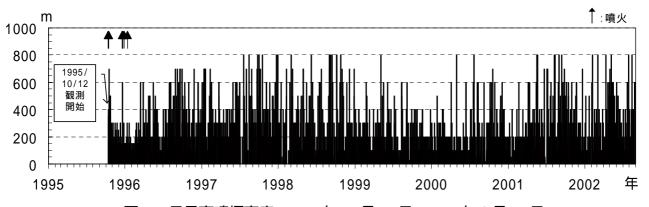


図 1 日最高噴煙高度 (1995年10月12日~2002年8月31日)

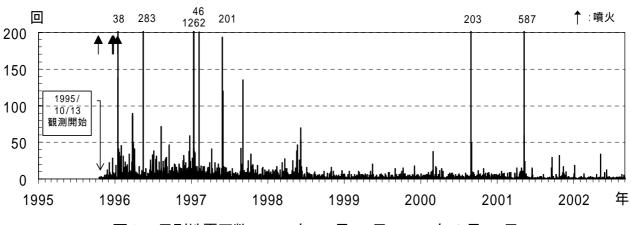


図 2 日別地震回数 (1995年10月13日~2002年8月31日)

九重山 - 1 -

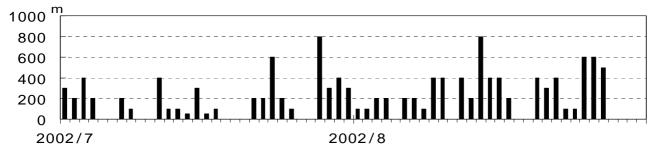


図3 日最高噴煙高度(2002年7月1日~8月31日)

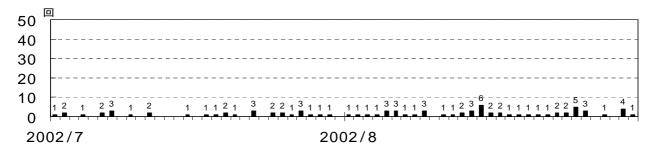


図4 日別地震回数(2002年7月1日~8月31日)

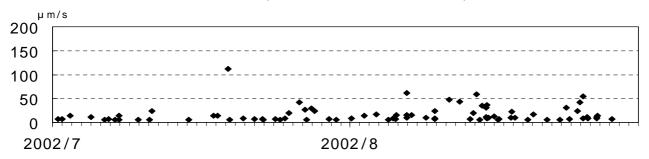
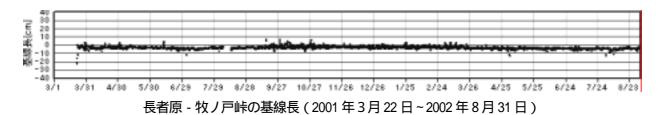
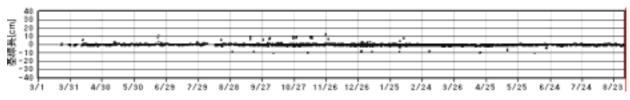


図5 火山性地震の振幅時系列変化図(2002年7月1日~8月31日)



5 20 0 8 -10 -20 -30 -40 3/1 3/31 4/30 5/30 6/29 7/29 8/28 9/27 10/27 11/26 12/26 1/25 2/24 3/26 4/25 5/25 6/24 7/24 8/23

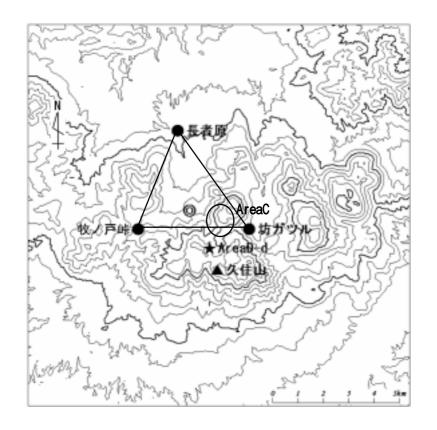
長者原 - 坊ガツルの基線長 (2001年3月18日~2002年8月31日)



牧ノ戸峠 - 坊ガツルの基線長 (2001年3月22日~2002年8月31日)

図6 GPS による基線長

九重山 - 2 -



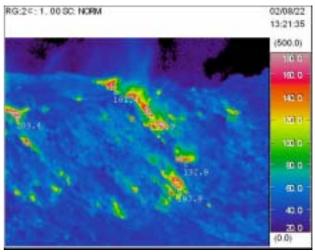
Area D-d: D領域d火孔 (1995 年新火孔群のひとつ) Area C: C領域

気象庁観測点 遠望カメラ1点(長者原) 地震計1点() 空振計1点() GPS3点()

図7 観測点位置図



図8 C領域の熱分布



九重山 - 3 -